



おおよその全県総体も終わり、3年生はいよいよ進路目標達成のための学習に本格的に取り組む季節となりました。図書館には面接対策や進路学習、読書のための本がたくさんそろっていますので、どんどん活用してください。3年生は進路に関する本を読みましょ。その際、メモや感想を残しておくと後々便利です。就職でも進学でも、面接で「最近読んだ本」や「～について関連した本」について聞かれることがあります。1、2年生も余裕のある今のうちに1冊でも読みましょ。

読書の方法を知っている人はすべて、自分自身を拡大し、存在できる道を増やし、人生を有意義で、面白く、最大限に活かす力を持っている。(オルダス・ハクスレ)

教頭先生と 養教の先生と 3年部の



先生方に聞いた「進路に関して読めばよい本や資料、生き方に関する本」特集

倉田寛行 教頭先生 (国語科) パツと伝わる！公務員のデザイン術 佐久間智之

一般的に公務員はお堅い職業で、デザインの知識やセンスを磨く機会はないと思います。しかし、広報課に配属されると、必要に迫られて広告やパンフレットを作成する任務が与えられます。このようなことは、就職すれば日常茶飯事です。そんな時の考え方や対応の仕方を「公務員がデザインする」という設定でわかりやすく説明しています。

そこで最も強調したいのは、『伝える』のは自分だが、『伝わる』のは相手」ということをしっかりと認識してほしいということです。人生において、どのような職業でも『伝える』場面があります。職業に限らず、生きていくには『伝える』ことは不可欠です。そのコツを実際のパンフレットや広告の作成から学んでほしいと願っています。

著者の、相手を想像して配慮したデザインの仕方に、柔軟な生き方を学びましょ。様々なことに応用できると思います。

安保邦将 先生 (電気科) スマホが学力を破壊する 川島隆太

スマホを使用することで学力が落ちている人がたくさんいると思います。この原因は勉強をしないでスマホをいじっている、つまり勉強する時間をスマホに取られ、勉強をしていないから学力が落ちているんだと思っていました。しかし、スマホに向かう時間の長い短いではなく、スマホを使うこと自体に学力低下の原因があったという結果が出ています。2時間勉強しても、その後スマホを数時間やればまったく勉強していない人よりも成績が落ちるという事実は驚きです。ビル・ゲイツやスティーブジョブズも子供にスマホ持たせていない……。スマホを止めると学力が上がっていくという事実をみんなも知るべきです。

吉原大介 先生 (保健体育科)

覚悟の磨き方 ～不安と生きるか。理想に死ぬか。～ 池田貴将

表紙が格好良い。吉田松陰が生前の時の言葉が短く綴られており、読みやすい。そしてなにより共感できる言葉が多い。現代に生きる人にも十分通じる内容であり、年代にかかわらず楽しめる。活用方法としては、何かに迷ったときその本を読む。

奈良真澄 先生 (英語科) 置かれた場所で咲きなさい 渡辺和子

軽く読めるし、タイトルの通り、咲きたいと思う

海賊と呼ばれた男 百田尚樹 仲間を信頼した団結力がすばらしい

卒業 重松清 新しい一步を踏み出そう Step forward!

不可能を可能にする 大谷翔平 120の思考

向上心や克己心を持つだけではなく行動している

永遠のおでかけ 益田ミリ 何気ない日常のふとした瞬間がこの上ない宝物だね

鷹嘴浩輝 先生 (土木・建築科) 実践！タイムマネジメント研修 坂本 健

限られた時間の中で、いかに成果をあげることができるか。実際に成果を上げている人達の仕事術が紹介されています。

仕事を覚えていく過程で知らず知らず身についてしまう習慣や癖の中には、正しくないものもあり、それが原因で無駄や非効率が生まれます。そのことに気づいて、適切に修正していくことで、仕事の効率を上げることができると記されています。将来のために読んでみてはいかがでしょうか。勉強にも生かすことができると思います。

藤田奈緒子 先生 (国語科) マジ文章書けないんだけど 前田安正

言いたいことが伝わる文章の書き方を身につけるのに役立ちます。



工藤崇 先生 (土木・建築科) 青春を山に賭けて 植村直己

自分の目標に向かって迷いなく邁進しているところ。

馬淵恵 先生 (土木・建築科) 「いい人」をやめれば人生はうまくいく 午堂登紀雄

「常に人の目が気になり、他人の目を優先しようとする。人から嫌われないように、皆から好かれようとする」ことは、自然な心理ではありますが、この本は、自分は自分、自分の主張をしっかりともち、人間関係を再構築するために役立つ本です。常にいい顔でいるのがベストなのかを改めて考えて欲しいです。「もう、なんなのよ～！」と思うときに、是非。



乳井京介 先生（機械科） 脳には妙なクセがある 池谷裕二

心と身体に作用する脳の本性がわかりやすく書かれていて読みやすい本です。自分の行動を客観的に見直す機会となる本です。何かを変えたいときのヒントになると思います。

濱松崇子 先生（芸術科・音楽♪） ①「プチ哲学」中公文庫

②「毎月新聞」毎日新聞社 どちらも佐藤雅彦

- ① イラストがほとんどですが、哲学の入り口として読んでもいいですし、日頃のちょっとした疑問とか物の見方とかが変わるので、何かに悩んでいる時、迷った時に読んでもいいかも。
- ② こちらは新聞形式に書かれているコラム集です。本文の一ページ『じゃないですか禁止令』がそのまま表紙に使われていて、それもおもしろい。3コマまんが「ケロパキ」もオススメ。意外と勇気もらえたりします。

畑山弘視 先生（養護教諭） 気持ちを言葉にできる魔法のノート 「言葉にできる」は武器になる。実践編 梅田悟司

思ったり考えたりしたことを人に伝えるのが苦手…、言おうとしたことが言葉にならない…こんな悩みを抱えている人におすすめです。

この本は気持ちを言葉にして伝える方法が文章やイラストを用いてわかりやすくまとめられています。日常のコミュニケーションだけでなく、面接の場面などに活用できるので、興味のある人は是非読んでみてください。

3B K. T

『くりかえす桜の下で君と』 周防ツカサ

ループ物の小説なのですが、ループしている人が主人公以外にもいたり、ループから脱出する方法が特殊なところ、ループを繰り返す中で登場人物の関係の変化などがとても興味深く、心惹かれる内容になっている。



3D S. T

『火のないところに煙は』 芦沢央

作家である主人公に怪談を書いて欲しいと突然の依頼が来る。この小説には、主人公がホラー小説を完成させるために寄せ集めた「染み」「お祓いを頼む女」「妄言」など計5つの体験談が収録されています。この説明を読んだだけではあなたは必ずこの物語を勘違いしているはず。ただの短編小説だと思わないでください。絶対に順番通りに読んでください。でない…。そして本の外装には恐ろしい仕掛けも！

3F O. M

『5秒後に意外な結末』 桃戸ハル

ページをめくると思わず「え！」と驚いたり笑いがこみ上げてくるような意外な結末が待っている本です。ページごとに違う話が載っているので、長い話を読むのが苦手な人にもオススメの本です！勉強の息抜きに1ページ、どうですか？

3C I. Y

『ビブリオ古書堂の事件手帖 葉子さんと奇妙な客人たち』 三上延

「ビブリオ古書堂」という古本屋に持ち込まれるいわくつきの古書の謎と秘密を、古本屋の店主が、まるで見てきたかのように解き明かしていく物語です。人から聞いた話や本の知識で謎と秘密を解き明かしていくところが面白いです。

★★★ 3年生の図書委員たちはこんな本を読んでいます ★★★

3E K. F

『青くて痛くて脆い』 住野よる

ごく普通の大学生である田端楓が、子どもじみていて“イタイ”けれど純粋な理想を掲げる秋好寿乃と出会い、彼女と共に過ごした青春を、残り少ない大学生活の中で取り戻そうとする物語。正しさとは何かを問いかけてくれる作品です。読み終える時に主人公の青春の終わりを体感でき、ほんの少し胸が痛くなります。

3D A. A

『真夜中のオカルト公務員』 鈴木麻純

妖や神様とフツの新宿区役所職員が織りなす怪異小説です。アラスカの災いの神様と安倍清明が親友であったり、主人公の持つ特別な能力で事件を解決したりと、とても面白い1冊です。

3F H. K

『ブレイブ・ストーリー』 宮部みゆき

主人公である小学5年生の少年亘が両親の離婚話により崩壊しつつある家庭を今までの平穏な家庭に戻すべく幻界へ旅立っていくという物語です。上・中・下巻あり、少し長い物語ですが、亘が旅の道中で出会った仲間たちと共に困難に立ち向かっていく姿に夢中になり、どんどん読み進められるのでおすすめです。ファンタジー好きの方はぜひ読んでみてください。

3A K. T

『よるのばけもの』 住野よる

夜になると化け物になってしまう少年安達が、偶然会った矢野によって化け物になってしまった自分や矢野の奇妙な言動の理由がわかる学園物語。

委員長・3E Nさん、副委員長・3B N君のおすすめは、図書日より第1号に掲載しています。

学年ホールにある「図書コーナー」の本で、私が読んだ中から、イチオシを紹介します。

★1年 こんな生き方をしたい（伝記）

- ・**落ちこぼれてエベレスト（野口健）**…工藤先生も紹介しているが、登山家・冒険家の植村直己の著書と出会い、目標を見つけた野口さんの自伝。
- ・**ロケット・ボーイズ（ホーマー・ヒッカム・ジュニア）**…めげない、あきらめない高校生たちのロケット作りへの挑戦。こういう友情物が好きです。

☆2年 映画やテレビ登場した文学（高校生が主人公の作品） 3セットの中で一番多く読んだ

- ・**武士道シックスティーン（菅田哲也）**…正反対の2人が化学反応しながら成長していく姿
- ・**一瞬の風になれ（佐藤多佳子）**…小学校時代陸上部だったので、大会前の緊張感やライバルの存在が少しだけ共感できる。「努力の分だけ結果が出るわけじゃない。だけど何もしなかったらまったく結果は出ない」。こんな言葉もちりばめられている。

★3年 こんな自分になりたい（仕事・進路）&こんな生き方をしたい（伝記）

- ・**「オール1の落ちこぼれ、教師になる」（宮本延春）**…どん底からのパワーと勉強法も参考に。
- ・**「まだ17歳だけど、人生って面白いと思う」（岩淵大起）**…車いすで町を爆走する彼から勇気もらえるかも。ノンフィクションも好き。

